

第13回 JOTO CUP

第33回大阪クリテリウム in 舞洲 / 第10回大阪タイムトライアル in 舞洲

[Communique 1]

2021年3月26日

大会特別規則の改訂

新型コロナウイルス感染症拡大防止対応のため、JCF から発出された「緊急事態宣言解除後の大会開催に向けたガイドラインについて(7月17日改定)」に述べられた「V大会開催のガイドライン(種目別)ロード競技開催に関する留意点について」に従い、大会特別規則を以下の通り改訂いたしますので、皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

記

1. 検車について

- 最新の JCF 競技規則に則った自転車を使用すること。
- 整備は各自で責任を持って行うこと。
- JCF 登録選手、高校生男子、高校生女子は、ギア比制限のチェックを行うことがある。
ギア比制限は JCF 競技規則(JCF 競技規則 付表4-1 参照)の通りとする。
なお、**U17 の選手についてジュニアのギア比制限値を適用**する。
- **ギア比の確認はレース終了後に入賞対象者に対して行う**が、コミッセルの判断により、**入賞対象者以外にも実施する事がある**。
- リア変速機のアジャストボルトによるギア比制限への対応も認める。

2. タイムトライアルについて

- ① 本大会は、最新の JCF 競技規則と本大会特別規則により行う。
- ② 各自 **スタート6分前**までにスタート地点に集合し、点呼を受けること。(出走サインは行わない。)
- ③ 検車は行わないが、**目視で NG と思われる場合は検車を実施する**。不安な方は、検車エリア内の**検車台でセルフチェックし、分からない場合は、検車担当に相談**すること。
- ④ 1名ずつのタイムトライアル形式とする。また、TTバイク、ディスク/バトンホイール、TTヘルメットの使用を認める。
- ⑤ ホルダー(選手を支える役員)はおかず、**選手は地に片足をついた**状態からスタートする。
- ⑥ スタート時間に**遅れた場合は**コースの特性上安全を確保する為、**最後尾よりスタート**とする。ただし、**リザルトについてはオープン扱い**とする。

- 1 -

競輪の補助事業



この事業は、競輪の補助を受けて実施します。

第13回 JOTO CUP

第33回大阪クリテリウム in 舞洲 / 第10回大阪タイムトライアル in 舞洲

3. クリテリウムについて

- ① 本大会は、最新の JCF 競技規則と本大会特別規則により行う。
- ② 各カテゴリーのスタート10分前までに出走サインを行い、所定の位置で待機すること。
- ③ バイク先導によるローリングスタートとする。
- ④ ラップアウト
 - エキスパート(C1)、高校生男子の周回遅れはラップアウトとする。
ただし、該当競走成立に著しい支障を来す場合においてはこの限りでない。
それ以外のカテゴリーは、周回遅れでもラップアウトにしないが、先頭選手がゴールした時点で周回遅れの選手もゴールとする。
- ⑤ ニュートラリゼーション
 - エキスパート(C1)、高校生男子、JCF 登録女子において、認められる事故(落車、パンク、自転車の重要部分の破損)に限り、コミッセールの認定により、ニュートラルゼーション2周回を与える。
 - コミッセールにニュートラリゼーションを受ける意思を伝えること。
 - 走路への復帰にあたっては、コミッセールの指示で事故前に位置していた集団後方に復帰すること。
ニュートラリゼーションを与えられた競技者は、最後の3周回以降、復帰することはできない。
 - ニュートラリゼーション中に最後の3周回が始まり競技者が復帰できなかった場合、または最後の3周回以降に認められる事故にあった場合、事故時に位置していた集団の最下位の順位とし、同集団の最後尾と同タイムを与える。
 - 機材の交換は、明示するピットにおいて、各チームでコミッセールの確認の下で行なうこと。
(上記3カテゴリー以外のカテゴリーについては、任意の位置で機材交換できる。)
 - 交換する機材は各自で準備すること。

競技委員長 高松 弘樹
審判長 吉田 大輔
大会実行委員会

競輪の補助事業



この事業は、競輪の補助を受けて実施します。